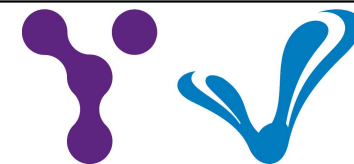


山梨大学 (山梨県)



実践的な教育学研究のスペシャリスト養成

◇大学紹介

○大学の概要

本学には、「教育学部」「医学部」「工学部」「生命環境学部」の4つの学部及び「教育学研究科」「医工農学総合教育部」の2つの大学院があります。そのうち、教育学部には、4つの附属学校園（幼稚園、小学校、中学校、及び特別支援学校）と附属教育実践総合センターが設置されています。

教員研修留学生が所属する「教育学研究科」は教職大学院の課程で、「教育実践創成専攻」が設置されています。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：231名

2021年度：239名

2020年度：229名

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：1名

2021年度：1名

2020年度：0名

・大学間交流協定数（2022年4月1日現在）46機関

○地域の特徴

本学は、山梨県の県庁所在地甲府市の北郊に位置し、甲府駅から北に歩いて15分ほどの地にあり、南に日本一高く美しい富士山、西に南アルプス連峰を眺望する風光明媚な自然環境の中にあります。

甲府市は、東京の西わずか110kmの地点にあり、東京の都心から特急電車で1時間半ほどで到着することができ、生活するのに大変便利な所です。

◇教員研修コースの概要・特色

本コースでは、実践的教育研究のスペシャリストにとって必要な、日本における先端的教育研究を体験できるカリキュラムが組まれており、附属学校・附属教育実践総合センターとの緊密な連携により理論と実践を採り入れた高度な実践的力量を形成するための教育に力を入れています。また、そうした教育研究の成果はもとより、日本文化研究の成果も提供しております。

本コースプログラムは、研修生が指導教員のきめ細やかな指導のもとに、特定領域における教育研究の先端的成果を少人数セミナーで享受しつつ、同時に、日本の学校の現状をつぶさに知り、また日本文化についての知識を獲得することが可能なよう、構成されています。

○受入定員 5名

○研修コースの概要

・日本語教育

ア) 山梨大学国際交流センター日本語Intensiveコース

期間：2023年10月初旬～2024年2月中旬

同コースは、集中的に日本語の習得を目指すコースで、入門から初級の3レベルがあり、日本語能力にあわせて受講することができます。

イ) 日本語既修者の場合、学部生向けの日本語科目（4レベル）を受講できる他、日本事情、How to Effectively Study a Foreign Languageなど日本人学生との混在型授業にも参加できます。

ウ) 口頭能力を高めるレベル別日本語補講クラスも受講可能。

・専門教育 各学生の研修目的に即した指導・支援を行います。

・見学・地域交流等の参加型科目

ア) 実地見学旅行を年1回実施しています。

イ) 外国人留学生懇談会

・その他 ガイダンスや個別の相談によって、勉学環境の充実を図っています。留学生向けに文化体験の企画もあります。

◇修了生へのフォローアップ

本コースを終了後、本国に帰国後、教育実践上、あるいは理論上の問題が生じて、各教育専門分野の本学教員より、E-mail等を通じて、問題解決に向けた懇切丁寧なアドバイスや指導を適宜受けることが出来ます。

◇宿 舎

○宿舎数

単身用101室、夫婦用2室、世帯用2室

○宿舎費

単身用 12,000～15,000円、夫婦用 17,000円、世帯用 21,000円

○宿舎設備・備品

各部屋に机・イス・ベッド・クローゼット・トイレ・バス・エアコン。キッチン・洗濯室は共用（宿舎により異なる）

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

大学・最寄りのコンビニエンスストアまで約1km、最寄りのスーパーまで約2km、通学時間：自転車約5分（宿舎により異なる）

◇問合せ先

大学所在地：山梨県甲府市武田4-4-37

担当部署：国際部国際企画課

TEL：055-220-8047、FAX：055-220-8019

E-mail：yu-study-abroad@ml.yamanashi.ac.jp

ホームページアドレス：

<https://www.yamanashi.ac.jp/>

大学名: 山梨大学(大学番号21)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科								
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)	
21001	井坂 健一郎 教授	isaka@yamanashi.ac.jp	絵画(絵画及びインスタレーション)	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語による日常会話が可能	
21002	加藤 朋之 准教授	tomo-kato@yamanashi.ac.jp	スポーツ科学(スポーツ社会学)、コーチ学(サッカー・コーチ学)	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語・仏語	1人	日本語または英語または仏語による日常会話が可能	
21003	安藤 大輔 准教授	dando@yamanashi.ac.jp	健康科学	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語能力を有すること	
21004	長谷川 千秋 教授	hchiaki@yamanashi.ac.jp	日本語学	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語能力を有すること	
21005	武末 裕子 准教授	htakesue@yamanashi.ac.jp	彫刻	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語による日常会話が可能	
21006	皆川 卓 教授	tminagawa@yamanashi.ac.jp	西洋史	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日・英・独・伊	1人	日本語、英語、独語、伊語のいずれかの語学能力を有すること	
21007	尾見 康博 教授	omiyas@yamanashi.ac.jp	心理学(文化心理学、教育心理学)	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	日本語又は英語による日常会話が可能	
21008	仲本 康一郎 教授	knakamoto@yamanashi.ac.jp	日本語教育	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語能力を有すること	
21009	奥村 直中 准教授	okumura@yamanashi.ac.jp	英語英文学(アメリカ文学)	教育・研究・実技	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	日本語または英語の能力を有すること	
21010	吉井 勘人 准教授	yoshiis@yamanashi.ac.jp	障害児教育	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語能力を有すること	
21011	齋藤 知也 教授	tomoyas@yamanashi.ac.jp	国語教育	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語能力を有すること	
21012	町田 茂 准教授	machida@yamanashi.ac.jp	中国言語文化(中国語学)	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・中国語	1人	日本語能力・基礎的中国語能力を有すること	
21013	鵜川 明子 准教授	akamogawa@yamanashi.ac.jp	比較教育学国際教育	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語・マレー語	1人	日本語、英語、マレー語のいずれかの語学能力を有すること	
21014	片野 耕喜 教授	katano@yamanashi.ac.jp	声楽合唱	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・ドイツ語・英語	1人	日本語・ドイツ語・英語のいずれかの語学能力を有すること	
21015	清水 文博 准教授	fshimizu@yamanashi.ac.jp	書写書道教育	教育・研究・実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語能力を有すること	
21016	尾形 大 准教授	dorata@yamanashi.ac.jp	日本文学(近代)	教育・研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語能力を有すること	
21017	伊崎 孝幸 准教授	tizaki@yamanashi.ac.jp	中国文学	教育・研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語能力を有すること	

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。